

地域社会振興部が新設されました

地域社会振興部

地域事業支援課

- 地域包括ケア推進班
- 認知症対策班
- 運転と地域移動対策班
- スポーツ振興班

昨年度までは地域包括ケア推進委員会として活動しておりましたが、今年度より、地域社会振興部が新設されました。それに伴い、旧委員会は地域包括ケア推進班として活動することとなりました。新たに示された地域共生社会5か年戦略のスローガン「人々の活動・参加を支援し、地域共生社会の構築に寄与する作業療法」を目指し、重点活動項目と第四次5か年戦略関連活動を積極的に進めていく方針です。

今年度の重点活動項目として、OT 参画のための市町村担当者設置事業、協会一士会連携・士会間連携(ブロック機能)事業、「保健事業と介護予防の一体的実施」参画事業、そして第四次5か年戦略関連活動として、短期集中型サービス以外の医療から地域(在宅)への取り組み促進事業、「短期集中型サービス」の参画促進事業、地域事業参画推進のための士会マネジメント事業、「重層的支援体制整備事業」の実態を把握と参画推進事業等を、部員23名体制で進めて参ります。

第1回地域事業支援会議開催

今年度第1回目となる会議は、2023年6月23日(金)の19時から、オンラインで開催され、当県士会からは、山口地域包括ケア推進グループ長(群リハ病院)、高坂理事(群馬医療福祉大学)が参加しました。

会議では、新体制の報告と7つの重点活動項目とその他の実行业務について説明がありました。

当士会はBブロック

48協議会 振り分け

地域社会振興部地域事業支援課

ブロック機能 事業 振り分け

2023年度～

Eブロック(元廣、田谷、若林)

中国四国ブロック

鳥取県、島根県、岡山県、

広島県、山口県、徳島県、

香川県、愛媛県、高知県

Fブロック(松岡、内村)

沖縄九州ブロック

福岡県、佐賀県、長崎県、

熊本県、大分県、宮崎県、

鹿児島県、沖縄県



Aブロック(三原、宮田)

北海道東北ブロック

北海道、青森県、岩手県、

宮城県、秋田県、山形県、

福島県

Bブロック(有馬、遠藤、宇都宮)

北関東甲信越ブロック

茨城県、栃木県、群馬県、

埼玉県、千葉県、東京都、

神奈川県、新潟県、山梨県、

長野県

Cブロック(高多、新名)

東海北陸ブロック

福井県、富山県、石川県、

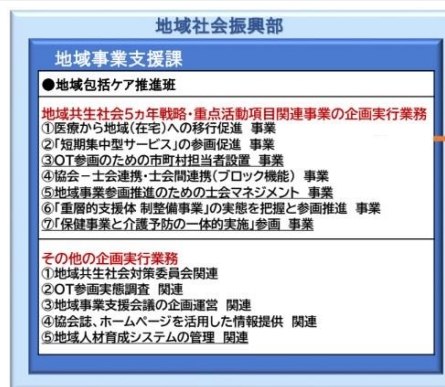
岐阜県、静岡県、愛知県、

三重県

※ブロックが変わる士会

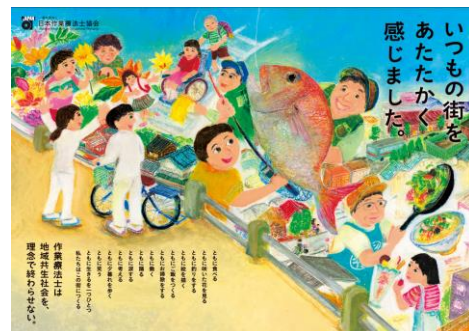
ブロック別のグループワークが開催され、群馬県作業療法士会はBブロックの所属となりました。協会の担当部員は、ブロック内の話し合いでは、自己紹介と今年度のブロック会議について、今後の協会一士会連携について話し合いました。中心として話し合われたのは、協会からの情報をいかに士会、士会員に伝達するかでした。多くの士会では協会からの情報を理事会やブロック長に共有していました。協会からの情報を士会員へ伝達している一部の士会は、広報誌やSNS、ニュースレターなどを活用していました。

今後は、ブロック会議や地域事業支援会議等が開催された機会にこれらの媒体により情報を発信していきたいと思ひます。



作業療法士は地域共生社会を理念で終わらせない!

「ともに〇〇」をキーフレーズに、障害がある方もない方も、子どもも大人も、みんなが笑顔で暮らしている社会をイメージし、書かれたポスターです。ポスターの最後には「作業療法士は、地域共生社会を理念で終わらせない」と強い意志を表しています。このポスターを見た方が「こんなあたたかい街がいいな」、「私も地域社会をともにつくりたいな」と心に誓う……などということがあれば、うれしい限りです。



編集後記

上記、重点活動事項にある通り、地域での活動は広がりを見せつつあります。より多くの方が地域に関わることができるよう、当士会では地域局と連携しながら協会からの続報や必要な情報を継続的に発信していきたいと思ひました。 群馬県作業療法士会 担当:高坂